

法華寺だより



ご先祖様に願い努めましょう 安穏な日々の暮らしを

お盆ですよ！

日蓮聖人は、「蓮華は太陽の光に、芭蕉は雷に遭って美しい花を咲かせる。人は南無妙法蓮華經のお題目にあつて仏になる」という意味のことを述べられています。

見え隠れする不安や不満に誰もが包まれがちです。それだけに、静かに合掌しお題目を唱え、内なる自分の力に気付き具現化に努めることが大切です。他を顧みない「自分が自分の心を省み、仏の心に繋がる自分の値を見いだし活かしましょう。『清浄なお水、お線香の煙と香り、蠟燭の明かり、お花、お供物。そして合掌とお題目』」

「ならく」「奈落の底に落ちる」と言えば、浮かぶ瀬のないどん底まで落ちこむ意味です。この奈落はサンスクリット語で地獄を意味するナラカを音訳したもののなのです。

仏教語

有名なのは無間(阿鼻)地獄で、深い所で絶え間なく苦しみを受ける。地獄はこの世界の地下深くにあり、まさしく陽の目を見ない。劇場などの花道や舞台の下の地下室などを奈落と呼ぶのはこのことより来ているのであろう。

地獄の様相や数については、経論によれば八熱地獄・八寒地獄・孤独地獄等であるが、特に

※【仏教語散歩】
(さだまる新書) 参照

いざ挑戦

日蓮検定

【三級その③②】
弘安五年十月十五日茶毘に付された日蓮の遺骨は何処に運ばれたか？

- 1 .. 身延
- 2 .. 富士
- 3 .. 鎌倉
- 4 .. 清澄

- 1 .. 身延
「何処で死んでも身延の沢に葬って下さい」という遺言に従って身延に運ばれ、翌年の一月に墓が建立された
- 2 .. 富士
- 3 .. 鎌倉
- 4 .. 清澄

先代住職の 三十七回忌法要は

十八日十時からのお盆の法要終了後十分程度の休憩を挟んで執り行います。皆様引き続きのご参詣下さいますようお願い致します。法要終了後、天清閣にて昼食を取っていただく予定です。祥雲院日瑞

昭和五六年八月二十一日遷化
享年七十歳



ご案内

- 八月 七日 堂宇清掃(雨天翌日)
- 十八日 盂蘭盆会施餓鬼法要
- 十九日 先代住職三十七回忌法要 納骨堂清掃

- 九月 十三日 行学会
- 二十三日 秋季彼岸法要、バザー

心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩
みや心配事の絶えないもの
……ご来所やお電話を……

TEL 一三三・四〇三三

身延の五重の塔



今月の聖語

心は
こころ

ぶっしん おな
仏心に同じ

平成28年度 法華寺護持会収支決算書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部

科目	予算額	決算額	△増減額
護持会費	10,000,000	10,738,600	△738,600
葬儀光熱費	800,000	1,337,000	537,000
雑収入	50,000	298,118	248,118
前期繰越金	4,375,673	4,375,673	0
合計	15,225,673	16,749,391	△1,523,718

支出の部

科目	予算額	決算額	△増減額
通信費	500,000	494,735	△5,265
消耗品費	80,000	77,867	△2,133
会議費	50,000	34,000	△16,000
護法布教費	2,300,000	1,969,257	△330,743
新聞図書費	180,000	125,353	△54,647
事務費	750,000	200,967	△549,033
車両維持費	600,000	736,844	136,844
公租公課	155,000	158,000	3,000
火災保険料	387,380	387,380	0
慶弔費	60,000	93,200	33,200
境内建物維持費	1,500,000	857,945	△642,055
仏具備品費	200,000	240,586	40,586
水道光熱費	1,500,000	1,470,613	△29,387
行事費	1,000,000	1,200,543	200,543
各種点検費	650,000	400,680	△249,320
雑費	70,000	101,748	31,748
予備費	3,243,293	0	△3,243,293
800年積立金	2,000,000	2,000,000	0
合計	15,225,673	10,549,718	△4,675,955

収入額 16,749,391円
支出額 10,549,718円
差引残高 6,199,673円

29年度繰越金

【仏心】私たちの心の中には、貪(むさぼり)や愚痴など嫌な部分もありますが、誰かの役に立ちたいと願うような心根もあります。それが仏心です。しかし、私たちは自分自身の中に仏心が在ることをしばしば忘れます。忘れた仏心を呼び起こすのが合掌です。日蓮聖人は、どのような苦難に遭おうとも「心は仏心に同じ」と信じる覚悟を勧められています

「曾谷二郎入道殿御報より」
日蓮聖人御遺文



法華和讃

(四十八)

霊山の旅は池上本門寺

ひらける法の寺ぞ貴き

南無妙法蓮華経

妙法和讃

ミニ私見

「霊山の旅」 死んだらすぐ死後の世界に到達するものでなく、それなりの過程(段階)があるそうです。そのお手伝いをお寺のお上人たちが勤めます

編集後記

◆異常気象と災害の報道◆人智の無力さを感じる◆けれど、それを乗り越えた人間の歴史と未来も学びたい◆本堂や庫裏は昭和四一年(一九七一年)に落成◆そろそろ五〇年◆あちらこちらの修復等が必要なのでしょね◆

参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗新聞」
- ※「日蓮と日蓮宗」
- ※「仏教語散步」等々